



Relation Gate Magazine

株式会社ここみケア

第4号

2023年12月発行

ここみ訪問マッサージ仙台

坂内 みさき

2020年12月に株式会社ここみケアへ新卒入社した坂内みさき。ゲストの心と体に寄りそったサービスを提供するにはどうしたらいいか、試行錯誤の日々を送っているという。3年目の今、坂内が目指す姿とは。これまでの軌跡をたどりつつ、ゲストや会社への思いに迫る。

祖父母孝行がきっかけで

「プロになって、高齢の方が痛いと感じるところを少しでも楽にしたい」。

そう思うようになったのは、実家に住む祖父母の肩を揉むと、喜んでくれるのが嬉しかったことがきっかけだった。そのうちプロのマッサージに興味を持つようになり、専門学校へ進学して資格を取得した。

就職活動の時期になると、学校で学んだ技術を生かしたいとの思いを強くし、訪問マッサージの仕事に就こうと決意する。そうした折、出会ったのがここみケアだったのだ。迷うことなく応募し、新たな一歩を踏み出したのである。

介護技術の難しさ

入社後、坂内はさっそく壁に直面してしまふ。ゲストをベッドから車いすへうまく移乗できないなど、慣れない

業務に四苦八苦したのだ。ときには「痛い」といわれ、落ち込んだことも数知れない。

そういうとき、すつと手を差し伸べてくれたのが先輩キャストだ。アドバイスをくれるのはもちろん、練習にもつき合ってくれた。おかげで少しずつスキルが身につく。今では一人ひとりの症状や生活環境を考慮しながら、スムーズに業務を行えるようになったという。

ゲストのニーズをキャッチ

入社から3年にもなると、ゲストとの会話から本人も気づいていないニーズを察知できるようになった。そういう場合はいくつか要望に応えられる選択肢を提示し、訪問回数の増加や時間延長の提案も行う。心がけているのは、自分の意見を押しつけるのではなく、ゲストと一緒に希望に沿った内容を考えること。喜びの声が増えれば増えるほど、会社の利益にもつながるのではないかと考えている。

成長を続ける努力

最近はマッサージを終えると、帰りに際にゲストから「来週も待っているよ」と言葉をかけてもらえるようになった。ゲストのなかには一人暮らし

でさびしさを感じている人、痛みで不安な気持ちを抱えている人もいる。できれば、自分の訪問がそういう人たちの精神的な支えになればと考え、いつも明るく寄り添うことを意識しているという。

そして、これからも変わらず目指していくのは、ゲストの痛みを少しでも軽減し、前向きな気持ちになってもらえるようなキャストになること。そのためにも、さらに実務経験を積んで技術を向上させていくつもりだ。

「まずは筋肉の構造を理解し、痛みの原因となる部分を的確に判断できるようにならなければなりません。これからも意欲的に勉強に励み、着実にステップアップしていきたいと考えています」。

ゲストの笑顔を増やし、会社に貢献するべく心のこもったサービスを提供する坂内。向上心を胸に、今日も挑戦を続けている。



坂内みきさんってどんな人？

誰からも愛される坂内さんは、猫ちゃんからも好かれていた様子！今回はそんな坂内さんのお話を3名の方からたくさんお聞きしました！

Q1. 坂内さんを一言で表すと？

そつなくこなす
頼れる三女

Q2. 坂内さんの「すごいところ」を教えてください！

業務に関して、何事もそつなくこなすことのできる万能型だと思います。若さと堅実さを兼ね備えたチャーミングな存在です！

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

お客様に対する接し方や、業務中の時間の有効活用など、いつも上長の期待通りの活躍をしていただきます！



ここみ
訪問マッサージ仙台
課長代理
わたなべ ゆう き
渡部 勇樹さん

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

時間が経つのはあっという間で、坂内さんが新入社員として入社した頃が懐かしく思います。今ではすっかり頼れるキャストとして、現場で活躍して下さっています。今後ともよろしくをお願いします！



ここみ
訪問マッサージ仙台
さとう ひろ み
佐藤 裕美さん

Q1. 坂内さんを一言で表すと？

素直で愛される
仕事のできる人

Q2. 坂内さんの「すごいところ」を教えてください！

ミスが少なく正確で優しい方です。利用者様とのコミュニケーションが上手で皆に愛されています。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

事務所での雑談中に、趣味について楽しそうに熱弁してくれる坂内さんの表情が、生き生きとして輝いていました。

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

いつもお疲れ様です。坂内さんが事務所に戻られると空気が柔らかくなるような気がします。また、お客様宅の飼い猫のお話を聞くのを楽しみにしております。

Q1. 坂内さんを一言で表すと？

気配り功者

Q2. 坂内さんの「すごいところ」を教えてください！

周りがしっかり見えていて、こちらが間違いに気付く前に指摘してくれる所です。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

お客様の飼い猫がなかなか懐かない猫だったのですが、すぐにじゃれあって遊んであげていたのが、これは本物の猫好きだなと思いました(笑)



ここみ
訪問マッサージ仙台
しょうじ まさ たか
庄子 昌孝さん

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

入社当時からしっかり者だなと思っておりました。さらに、経験を経て周りのフォローまでできている坂内さんはここみ訪問マッサージには、いなくてはならない存在だと思います。これからもよろしくをお願いします！

皆さんの投稿・投票によって行っているこの企画！今回は、コロナ禍で自由に外出できない状況のご利用者様に「少しでも楽しんでいただきたい！」そんな思いから生まれた2つの行事をご紹介します。準備の大変さはあっても、皆さんが「やってよかった！」と喜んでくださいました。

看多機 芋煮会と運動会

看多機では芋煮会と運動会を今月の行事として行いました。

10月19日(木)看多機職員と利用者様で芋煮会を開催しました。利用者様には白菜、蒟蒻をちぎったり、ねぎを切ったりしていただきましたが、皆さん張り切ってお手伝いしてくださいました。出来上がった芋煮を職員も一緒に食べました。「美味しい」と皆さん食が進んだ様子。朝早くから準備を手伝ってくださった職員の佐藤さん、横江さん本当にありがとうございました。

10月31日(火)秋の運動会には、職員も参加しました。輪投げ、パン食い競争、玉入れ、ケツ庄競技を皆さん一生懸命参加してくださいました。にぎやかな応援もあり、赤組、白組どちらも頑張りましたが、優勝は白組！白組の皆さん優勝おめでとうございます。

10月31日はハロウィンの日でもあります。飾っていたジャックオーランタンは、運動会後のおやつにいただきました。看多機職員及び、利用者様の多数のご参加、ご協力いただきありがとうございました。



10月度 月間MVP!

投稿者



写真右側：垣副さん

看護小規模多機能
ここさいむら小田原

かきぞえ のぞみ

垣副 望さん

投稿日：2023.10.31



垣副さんに投稿内容について詳しく教えてもらいました!

行事を行うことになった経緯や工夫点、感想を教えてください!

企画の経緯

コロナ禍で外出が難しい中、皆で楽しめる行事がしたいと企画しました。食事は大きな楽しみの1つのため、行事で温かいものを提供したいという思いで芋煮会を実施。運動会も、小規模でもその雰囲気味わっていただきたいという気持ちで行いました。

当日の工夫点

「皆で作った」という思いを感じていただけるように、芋煮会当日の準備はご利用者様と一緒にエプロンをつけて、お手伝いからスタート。運動会も「みんなで楽しもう!」の気持ちを大切に、職員全員で準備から当日の進行まで行いました。

実施した感想

行事を企画するのは簡単ですが、準備がいかに大変かを実感した1か月でした。それでもやってみたら楽しくて、「やって良かった」という声をたくさん聞くことができました。



一緒に働く皆さんへ メッセージ

企画の当日までの準備は大変ですが、最後は「やって良かった」と思うはず。1つでも小さくても良いので、利用者様に楽しんでいただける行事を実施してみたいですか。



私たちががんばっています！ 海外キャストの成長に注目！



祖国から遠く離れた日本で、ともに働く海外キャストの皆さん。慣れない言葉と文化のなかでも、熱意をもって日々奮闘している頼もしい仲間たちです。今回はその成長した姿をお伝えします。皆さんもこの心強い姿を励みに、明るく業務に取り組んでいきましょう！



ここさいむら泉中央
ノーバーバルゲイさん

成長したこと 幅広い業務をできるようになりました！

具体的には食事作り、掃除や体操。介助についても入浴、食事など、できることが増えました。そのなかで、**とくに自分で成長したとを感じるのが入浴の介助です。** デイサービスで時間が決まっているなか、最初は時間配分が難しいと感じていました。しかし、時間配分を決められるようになり、午前中に全員の入浴をお手伝いできるようになりました。そうして、午後からのレクリエーションや体操へ気持ち良く参加していただけるようになりました。介助の際に大切にしているのは声かけ。たとえば、「入浴するのは嫌だな」とおっしゃるゲストには、穏やかに、安心してもらえるようにお話するようにして、入浴を促しています。



上司からの参考となったアドバイス ケアをするうえでの基本姿勢を学びました！

具体的には「ユマニチュード」という技法です。ゲストの目と同じ目線に立ち、お話をしたり、優しく手のひらで触れたりするようにします。また、健康を悪化させたり、寝たきりになったりしないように、車椅子の方も含め、立ち座りという基本動作をゆっくり、丁寧に行うようサポートしています。こうした基本的姿勢をしっかりと念頭において行うことを学びました。

教えてもらったのは入社して間もない、ケアの仕方に迷っていたときでした。それからはゲストに寄り添って声かけや誘導ができるようになりました。ゲストが笑顔を見せてくださったり、じっくり話を聞いてくれたりして、お互いに信頼関係が築けるようになったと感じています。

今後挑戦したいこと 朝の会を担当できるくらいうまく話せるようになりたい！

「今日は何の日ですよ」、「今はこういう季節ですね」といったお話をする朝の会。この担当になれるほど、話し方や、会の進め方を上達させたいと考えています。今はまだ話し方が難しいなど感じていますが、少しずつでも克服していければいいなと思っています。



バルさんをよく知る上司の庄司さんからメッセージをいただきました！



ここさいむら泉中央
主任

しょうじ かよこ
庄司 佳代子さん

バルさんへ メッセージ

仕事や勉強に一生懸命励む姿は本当に素晴らしいですし、尊敬しています。これからも一緒にここさいむら泉中央を盛り上げていきましょう。よろしくお祈りします！

Q.バルさんに期待することを教えてください！

日本語の意味や言葉の使い方をさらに勉強し、朝の会や言葉を使用したレクリエーションなどに意欲的に取り組んで、仕事の幅を広げてほしいと思っています。

Q.バルさんが入社当時と比べて成長していると感じる点はどこでしょうか？

入社当時は戸惑いや不安もたくさんあったことと思います。今では介護技術はもちろん、ゲストとのコミュニケーションの取り方もとても上手になりました。特に自然なスキンシップで心を開くところが本当に凄いなと思っています。これからも多くのゲストを笑顔にしていきたいと思います！

教えて！

Relation Gate Group の障がい部門のこと

今回は、当グループの障がい部門を紹介します。お話を伺ったのは、ジョブサポートYOU旭ヶ丘に勤務する管理者の山田さんです。一人ひとりに寄り添ったサービスの提供はもちろん、ゲストが継続して通いたくなるような気遣いにも注目です。

ジョブサポートYOU旭ヶ丘
係長 やまだ しゅん
山田 俊さん



障がい部門とは？

メンバー構成と 役割分担

5人のキャストで構成されています。「サービス管理責任者」の資格を保有している私が、ゲストのプラン作成や外部との連携など、部門全体の管理を担っています。



業務内容

「就労継続支援B型」として 就労環境を提供し、社会復帰を支援

世の中には、病気で生活リズムが整わない方や、障がいのために通常雇用が難しい方がいらっしゃいます。そのような方々に向けて、社会復帰や就労のための支援をさせていただいています。具体的な作業としては「**ここみケア**」で保管している**書類の電子化**です。入力やスキャナーなど、一人ひとりに仕事を分担し、その工程通りに作業を行ってもらっています。その際に、ゲストが施設を利用するにあたっての支援プランを考案しています。**1年間の利用でどのような課題を克服していくのか**、ご本人の希望と状態を鑑みて、キャストが最適なプランでお手伝いしていきます。



店舗独自の取り組み

1. パソコンを使った事務作業への従事

「就労継続支援B型」といっても、さまざまな事業があります。例えば、箱入れやパン、クッキーなどの製作。一昔前まではこのような軽作業が中心でしたが、私たちの施設では、パソコンを使った事務作業を主としています。一般的な事務作業ができれば、どの業界でも通用するのではないかと考えたからです。物を作らないので在庫管理もなく、パソコン上でのやりとりということで、スペースもさほど必要ないこともメリットのひとつだと思います。また、仕事自体が親会社からの提供となるので、作業が滞る心配もありません。

2. ゲスト自身に作業を選択してもらうことで、長所を伸ばしていく！

利用する方は、障がいや病気をお持ちの方がほとんどなので、苦手なことをできるようにするより、得意なこと、できることに着目して作業をしてもらっています。自身で選択した仕事を根気よく取り組んでいただくことで、継続して作業を行うことへの忍耐力を鍛えています。作業自体は単純ですが、同じことを長く続けるのは難しい部分でもあります。それぞれのペースで成長していただき、作業スキルだけではなく、就労意欲も伸ばしていけたらと考えています。

問い合わせ、リピート率を増やすための工夫

1. ポータルサイトを契約し、事業所を紹介

自社のホームページとは別に、利用を希望される方が閲覧できるサイトで事業所について紹介をしています。そこには、県内のさまざまな事業所が載っていて、個人が直接問い合わせることができるようになっていました。またそれ以外にも、関係機関にDMを発送したり、直接出向いて挨拶をしたりもしています。

2. 来ていただいた方にとって、成功体験になるように

問い合わせがあった方や、体験、見学に来られた方のリストを作成し、再度こちらから連絡をするようにしています。また、体験に来られた方においては、その方の成功体験になるように配慮をしています。具体的には、得意なことや出来る仕事の提供、作業量の調整など。皆さん緊張もしているでしょうし、まずは取り掛かりやすいところからという思いで対応しています。

\\ 障がい部門の紹介文句はコレ!! \\

「働く場として活用してください！」

就労に困っている人のなかでも、デイサービスは使いたくない、雰囲気は馴染めないという方もいます。そのような方には、ぜひ「働く場所」であることをアピールしてもらいたいと思います。別のデイサービスとの併用も可能です。少しでも多くの方に、私たちの事業所の良さが伝われば良いなと思っています。

他部署のみなさんへ

いつも多くの理解や協力に感謝しています。周囲で「こういう人どうかな」「事業所の対象になるかな」ということがあれば、いつでも相談に応じますので、お声がけください。



Relation Gate Magazine

株式会社ここみケア
社内報「Relation Gate Magazine」vol.4
2023年12月発行